

九品仏歴史散歩図

奥沢の地名の由来

奥沢は昔の地名を住原郡五川村大字奥沢といいました。奥沢の名の起りは、郡内の中央部に位置して七沢（北沢、馬引沢（現駒沢）、廻沢、池沢（現池尻）野沢、深沢、奥沢）の一つとしてこの名が付けられたということです。

歩いて想う昔のおもかげ

私たちのまちを歩いてみませんか、浄真寺から奥沢神社をぐるっと廻って、約5,000歩、約1時間程度です。ゆっくりあちこちを見ると新しい発見があるかも知れません。

水田地帯で清水が小川となり流れていた。調整池の役割をして、かつて渋谷東急文化会館の建設のため掘った土をこの池に捨て、池はなくなりました。
九品仏池

几帳中「さき草と常盤燈籠」伝説の歴史
この地の旧字名も「鶯の谷」と呼ばれていた。



めぐり通り

白山神社

浄真寺

境内も広く樹林も豊かで大木の宝庫とある。区内一番背の高いカヤノキ（樹齢700年）都内最大級。

黒松池木

世田谷名木百選のクマツツ群

この辺りは昔、猿場だったため、家屋が建てられなかった。明治32年、浄真寺が建てられた。

九品仏

奥沢白遺蹟

縄文時代の聖穴住居跡が発見された。昭和3年頃の区画整理でも60ヶ所の住居跡と土器等が確認された。

鶯草の里の碑

鶯草が群生していた

奥沢神社

几帳小学校稲荷の地。皮だけになったミノキの老木に歴史の重みを感じる。神社のご神紋もサギソウの花が図案化されている。

昔はここから九品仏の参道が見えた。

仏山

宮本三郎美術館

豊川新橋

豊川新橋、豊川市に本宮がある。

道しるべ地蔵

地蔵をまつて安全を願った。

火の見やぐら跡

やぐらの下に消火用機器が用意されていた。

九品仏小 湧水・洗い場があった。

のろし台

鎌倉からの通信施設だった。

几帳川 ほまれの花跡

校庭の真ん中にある。今のシンボルツリーはユリノキの太木。何才でしょう？（八小は明治12年創立）

近辺の見どころ

等々力溪谷

桜の名所として知られ、都内に残された数少ない溪谷の一つで世田谷区の観光名所となっています。溪谷の名をそのままに、深山幽谷の趣を残しており、平安時代から後の行者が修行したという不動の滝や興教大師が夢のお告げにより建てたという等々力不動尊があります。